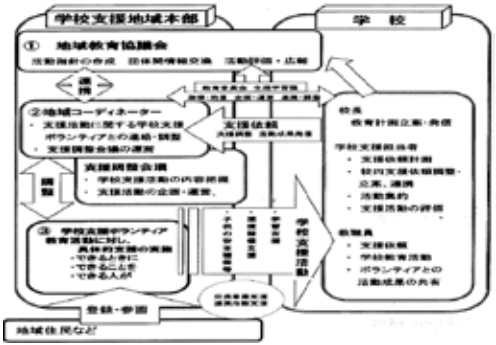


# 地小っ子応援団のモットーは「できる人が、できるように、できる時に！」

広島県廿日市市	● 活動名	● 関係する学校名
	地御前小学校区学校支援地域本部	廿日市市立地御前小学校

開始年度	平成 25 年度	学級数	16 学級	児童・生徒数	402 人
活動内容	■学習支援活動 ■部活動支援 ■環境整備 ■子供の安全確保 ■学校行事等の支援 □その他 ( )				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 3 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 49 人	属性	民生児童委員・地御前地区自治会・郷土文化関係者・長寿会・見守り隊等		
参考 URL	http://www.hatsukaichi-edu.jp/jigozen-e/				

● 体制図



● 連絡先	廿日市市立地御前小学校	☎ 0829-36-1021
-------	-------------	----------------

● 活動の概要・経緯

- 1 学習・体験支援 家庭科、総合、生活科、準備支援（ミシンの清掃活動、包丁の整備等）
- 2 生活・安全支援 新1年生の下校見守り、実技授業での危険防止支援、プールサイドでの安全支援
- 3 地域交流活動 通学合宿を自治会青年事業部と共催で、地御前市民センターを会場に実施

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 校内に本部の事務局として「ふれあいルーム」を常時設置。地域の支援者の活動拠点であることはもちろん、子供と地域の大人の交流の場ともなっている。
- 「学校支援ボランティアガイド」を作成しており、支援者の事前研修に活用している。
- ボランティア交流会や各種研修会等を開催し、継続した支援活動が出来るよう、人材育成に取り組んでいる。
- 月に1回、「支援者調整会議」を開催し、学校から要望のあった支援内容について、計画・調整をしている。
- 各年度の活動記録を整理し、事後の活動に役立てるための資料を作成している。
- 「学校だより」で地小っ子応援団の活動を広く情報発信し、情報の共有化と機運の醸成を図っている。

【実施にあたっての工夫】

- 校内に本部の事務局として「ふれあいルーム」を常時設置。地域の支援者の活動拠点であることはもちろん、子供と地域の大人の交流の場ともなっている。
- 「学校支援ボランティアガイド」を作成しており、支援者の事前研修に活用している。
- ボランティア交流会や各種研修会等を開催し、継続した支援活動が出来るよう、人材育成に取り組んでいる。
- 月に1回、「支援者調整会議」を開催し、学校から要望のあった支援内容について、計画・調整をしている。
- 各年度の活動記録を整理し、事後の活動に役立てるための資料を作成している。
- 「学校だより」で地小っ子応援団の活動を広く情報発信し、情報の共有化と機運の醸成を図っている。

● 事業を実施しての効果・成果

- 「支援調整会議」で、定例的に学校と地域の間で「育みたい子供の姿」を共有しながら、地域ぐるみの子供の育成に取り組めるようになった。
- 地御前地区は世界遺産である宮島の対岸に位置し、多くの伝統文化が受け継がれる地域である。支援活動を通して、日常的に地域の大人との温かなつながりの機会が増えた子供たちが、積極的に地域行事に参加するようになってきている。これにより、伝統文化の継承が進んでいる。
- 子供たちを支援する活動は、支援者自身のスキルアップの場、自己実現の場、生きがいにもなっている。学校支援の活動がきっかけで、他の地域活動でも活躍するようになった人もおり、地域の活性化につながっている。



地域の伝統文化を継承



通学合宿

ポイント

ふれあいルームに学校支援地域本部の事務局を置くことで、子供と大人の交流の場ともなっています。学校支援ボランティアガイドを使った事前研修を行うことで、学校の信頼も厚くなり、継続性が生まれていますね。